

第 1 回 道の駅「ひなの里かつうら」周辺 公園整備検討委員会

「6. 意見交換」

○資料リスト（意見交換）

名称	備考（説明者）
00 「6. 意見交換」表紙、資料リスト	コーディネータ
01 意見交換：プログラム（第1回）	コーディネータ
02-1 委員会のプロセス（案）（R7 年度）	委員長
02-2 委員会の運営とルール（案）	委員長
03 道の駅「ひなの里かつうら」周辺公園整備計画の目的・ 範囲・スケジュール	勝浦町
04 公園計画のゾーニングの例	スバル設計
05 公園計画の流れと視点	徳島大学・澤田 俊明
06 地域と防災	徳島大学・上月 康則

道の駅「ひなの里かつうら」周辺公園整備検討委員会

【第1回】意見交換プログラム

- 日程：令和7年7月9日（水）18:00～20:30
- 会場：勝浦町地域活性化センター・レヴィタかつうら
- 意見交換のテーマ：**公園基本整備計画、論点1【目的・方針】**
- ・公園計画の目的、範囲（確認・意見交換）
 - ・公園に必要な機能、主要施設、想定すべき利用者（意見交換）



委員会 URL

■プログラム

意見交換司会：高尾美由姫（徳島大学人と地域共創センター協力員）

時間 (目安)	項目	進行
17:40	※受付け セルフ受付け、居住地地図シール	
18:00 (20分)	1. 開会、2. 町長あいさつ、3. 委員長・副委員長選任 4. 委員長・副委員長あいさつ、5. 諮問書交付	勝浦町
18:20 (30分)	6 意見交換 1) 情報の共有 ※アイスブレイク ①委員会のプロセス、ルール（案）（委員長） ②道の駅「ひなの里かつうら」周辺公園整備計画の目的・範囲・スケジュール（勝浦町） ③公園計画のゾーニングの例（スバル設計） ④公園計画の流れと視点（徳島大学・澤田俊明） ⑤地域と防災（徳島大学・上月康則）	意見交換司会、委員長 (全体進行)
18:50 (10分)	2) 意見交換（意見情報の可視化） 1) 個人で考える ・質問項目 ・公園に必要な機能、主要施設、想定すべき利用者、懸念	意見交換司会、委員長 (全体進行)
19:00	休憩 ※次回の予定シールアンケート（第2回、第3回、時間帯）	
19:10 (70分)	2) 意見交換 3) ふり返り、委員長・副委員長のコメント シールアンケートについて（意見が言えた、意見が聞けた、満足度）	意見交換司会、委員長 (全体進行)
20:20 (10分) 20:30	5 チェック・アウト ・次回の開催ほか ・挨拶（勝浦町） ・閉会	勝浦町

委員会事務局

勝浦町役場総務防災課 電話 0885-42-2511 中田 敦士
〒771-4395 徳島県勝浦郡勝浦町大字久国字久保田 3

道の駅「ひなの里かつうら」周辺公園整備検討委員会 委員会のプロセスについて（案）（R7年度）

- ・作成 澤田俊明：徳島大学客員教授、技術士（建設部門、都市及び地方計画）

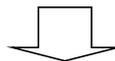
1. 委員会の目的

- 道の駅「ひなの里かつうら」周辺公園基本整備計画の策定を検討

2. 論点

■公園基本整備計画上の主な論点

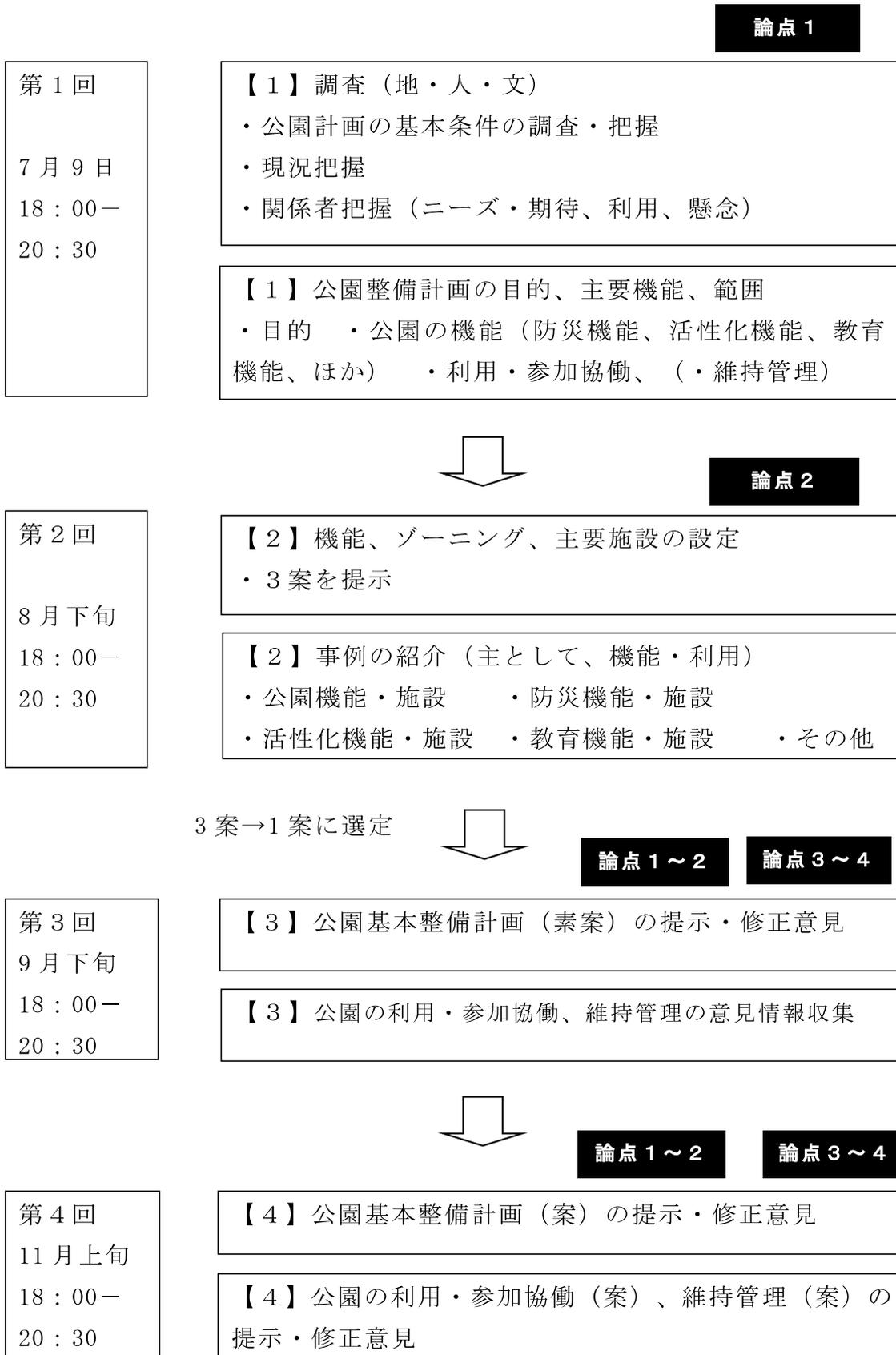
- 論点1 目的・方針
 - ・公園計画の目的・範囲、機能イメージ
 - ・計画予定地の特徴、関係者のニーズ
 - ・方針（機能、利用・参加協働、維持管理）
- 論点2 計画
 - ・公園の機能（＝利用、活動）、ゾーニング、主要施設配置
 - ・高さ（防災機能面等からの公園の高さ）
- 論点3 利用・参加協働
- 論点4 維持管理



道の駅「ひなの里かつうら」周辺公園整備検討委員会

- 上記論点のうち、重要項目を検討

3. 公園基本整備計画、及び策定委員会の流れ（R7年度）



委員会の運営とルール（案）

●委員の皆様へのお願い（2つ）

1. 積極的に、自分の意見を述べよう
2. 積極的に、他の参加者の意見を聞こう

●委員会のルール（1つ）

3. 【意見】意見の存在は認める = 否定はしない
（背景）多様な見方、多様な環境：意見の違い → 正常な状態

（参考）合意形成とは

多様な価値の存在を認めながら、人々の立場の根底に潜む価値を掘り起こして、その情報を共有し、お互いに納得できる解決策を見いだしていくプロセスのこと

※合意形成マネジメント協会（代表：哲学者・桑子敏雄氏）

道の駅「ひなの里かつうら」周辺公園整備計画の目的・範囲・スケジュール

(1) 策定の目的

近年の大規模地震や台風、異常気象に伴う大雨など自然災害の発生時において、町民の避難場所をはじめ、救援物資の受け入れや復旧活動等に資する防災の拠点、また、平常時はイベント時の駐車場不足の解消を図った上で子ども達が遊べる場を提供し、新たなにぎわいの創出や地域住民の利便性の向上を図る拠点となる公園の早急な整備が求められています。

このような多面的な機能をもつ公園を整備するための計画を策定します。

(2) 範囲



(3) 整備計画の検討内容

整備計画策定における主な検討内容は次のとおりです。

- ①検討条件の設定 : 検討課題の抽出・確認
- ②公園機能の検討 : 防災機能を含めた検討、ゾーニング等
- ③概算事業費の検討 : 概算事業費の算定

(4) 方針(現段階の骨子案)

- ①防災機能を持つ地域拠点の整備
- ②幅広い世代、地域資源活用、子どもから大人まで世代を超えた利用機能の実現
- ③交流拠点機能、情報発信機能の強化
- ④駐車場機能の拡充

(5)今後の予定

令和7年度

○基本整備計画の策定

委員会開催予定

第2回 8月下旬・第3回 9月下旬・第4回 11月上旬 予定

↓

令和8年度から令和10年度

○基本設計（諸施設の検討及び決定、概算事業費算出等）

○用地取得

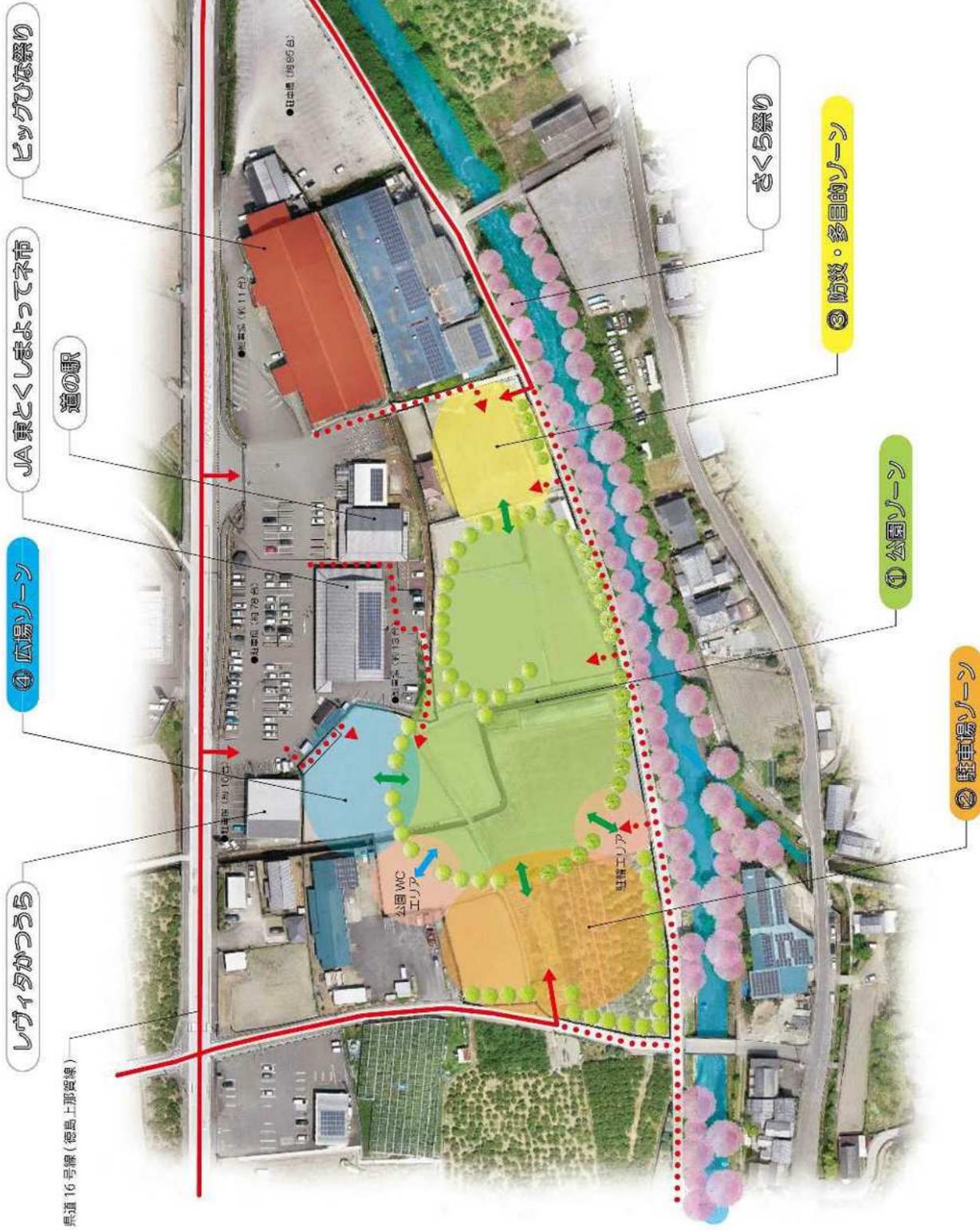
○実施設計

○整備工事

↓

令和10年度内の開園を目指す

※上記については、今後の進捗状況によっては変更が生じます。



(資料04)

道の駅「ひなの里かつら」周辺公園整備
検討委員会【第1回】 日程:2025年7月9日18:00~
会場:勝浦町地域活性化センター・レヴィタかつら



公園計画の 流れと視点

澤田 俊明

徳島大学客員教授
徳島県景観アドバイザー
兵庫県地域再生アドバイザー



専門領域
合意形成、景観、地域計画
自然体験活動

1

公園計画の急所

視点

■ 論点 1 【方針】

- ・目的、方針、範囲
- ・地域資源、関係者のニーズ

■ 論点 2 【計画】

- ・機能（利用者）、ゾーニング
- ・主要施設配置

■ 論点 3 【利用、参加協働】

■ 論点 4 【維持管理】



※埼玉県熊谷市河川空間活用の
「協議会」検討

お茶がでてくる公園

※豊田市子児ノ口公園

2

ものづくり、ビジョン・プランづくりの手順

- **【1】探索＝対象の情報**は **< 広げる >**
 - － 課題、資源、方策候補 →可能性を広げる
 - － 分析
- **【2】検討＝何を実現するか** **< 絞り込む・捨てる >**
 - － **計画コンセプト** **－合意形成－**
 - － 主要機能、主要活動
 - － 捨て去ったもの→将来活用
- **【3】構想立案** **< 共有する >**
 - － ビジョン・プランの提案・共有

※商品デザイン、商業デザインとは異なるプロセス

3

本公園計画の機能の例

視点の例

■ 広場・緑地の機能

- ・憩える、休める
- ・遊ぶ、散策、小スポーツ

■ 活性化の機能 ・儲ける、連携する

- 地域活動との連携
 - ・勝浦さくら祭り、ビッグひな祭り、マルシェ等との連携
 - ・道の駅、よつね市、勝浦地域活性化センター等との連携
 - コンセント、活動スペース、
- 地域資源：恐竜資源、みかん資源ほか
- クルーズ船客の誘致：日帰り客 2年前から日程確定
- 儲ける：カフェ、アイス、スイーツなど
- 既存店舗との競合を避ける、【公園から外す】

■ 環境配慮の機能

■ 防災の機能

- 避難場所として、雨露がしのげる
 - 日峯大神子広域公園の東屋、加茂荘(静岡)等
- 火がたける、煮炊きができる
 - バーベキューができるベンチ、手押し井戸のポンプ
- 倉庫がある、屋根にソーラー発電がある

■ 教育の機能

- 環境教育対応
 - ・地域の種々の樹木 学ぶ(那賀町公園、企業連携)
 - 阿南市から訪問(樹木、トイレ、駐車場)
- 連携
 - ・勝浦高校、カンキツテラスとの連携
 - ・勝浦中学校、生比奈小学校、横瀬小学校
- 地域学習 恐竜、みかん

※集合広場機能、バス駐車機能、要検討

4

改良？

- ・ 防災倉庫
- ・ 防災かまど
- ・ 防災まきストーブ
- ・ マキ貯蔵
- ・ 太陽光発電 = スマホ等充電

○防災機能

- ・ 雨除け、煮炊き
- ・ 防災倉庫

○共通機能

- ・ 集号場所、マルシェ
- ・ 恐竜化石体験

※水道、電気コンセントなど



5

施設の例



バーベキューベンチ



手押しポンプ

環境循環型の排水路



雨水利用のトイレ



透水型水路・集水樹(四国大学)

6

計画段階の急所

聞いていない！



※熊本県の事例ほか多くで停滞・紛糾
活性化、ゴミ、道路拡幅など

(国内の教訓) 公共政策ほかでの経験から

関係者の知らない間に決定した事業は、紛争が起
きると、多大な労力を要し、かつ、事業遂行も不安
定となる。



最初で決まる！

- 事業のプロセス
- コミュニケーションプロセス(関係者とのプロセス)

7

関係者のレイヤー

●委員会

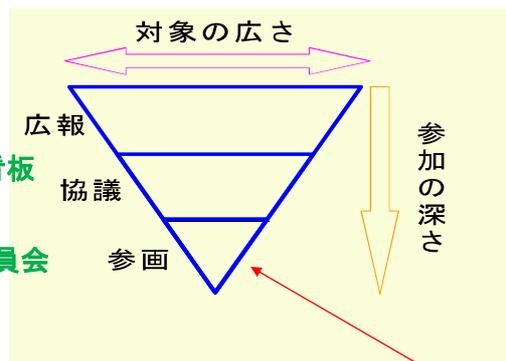
大人数

●広報誌

●説明看板

●委員会

少人数



下記が望ましい

○オープン・ハウス(説明看板など)

- ・委員会記録ボードの設置
- ・A1サイズの記録ポスター
- ・町役場玄関、道の駅、ほか

○町広報誌での照会

- ・各委員会終了後

○町ホームページでの照会

広報 : information 情報の共有 (HP、広報誌、等)
協議 : consultation 相談・意見の場 (説明会、オープンハウス、等)
参画 : participation 少人数共同作業・集団意思決定 (WS、委員会、等)

8

講師プロフィール

澤田 俊明 (合意形成プロデューサー)

愛媛県宇和島市出身、徳島県阿南市在住、メール swd6597@wonder.ocn.ne.jp



WORKS

○専門分野	合意形成、景観、地域計画、自然体験活動、政策提案
○学会等	土木学会、日本都市計画学会、棚田学会／都市環境デザイン会議(四国ブロック幹事)
○資格等	資格等:技術士(建設部門、都市及び地方計画)、博士(工学)／自然体験活動NEAL主任講師、CONEトレーナー、CONEリスクマネジメント・マネージャー、ヤマビコ認定士1級
○所属等	徳島大学人と地域共創センター・客員教授、(特非)郷の元気・代表理事、(一社)かみかつ里山倶楽部・代表理事、上勝自然体験学習研究会・副代表／みなみから届ける環づくり会議・副議長、(有)環境とまちづくり・代表、ほか
○大学等の非常勤・特別講義等(*過年度)	徳島大学(2001～／景観工学、環境デザイン、地域活性化、合意形成)、徳島文理大学(2025ガーデンデザイン論)、愛媛大学(2021～合意形成)、*四国大学(2018～2023里山・棚田景観、人間・環境系デザイン)、*阿南高専(都市計画、地域計画)、*帝京大学(地域ブランド論)、*東京大学(参加デザイン:ワークショップ・話し合い)
○活動	■実践活動:上勝ヤッホー活動2001～、上勝棚田オーナー制2005～、合意形成プロデューサー育成講座2024～ ■社会活動:徳島県景観アドバイザー2007～、上勝町景観審議会委員2007～2010・2023～、神山町景観審議会委員2024～、兵庫県地域再生アドバイザー2016～、全国棚田(千枚田)協議会特別委員2008～、かみかつ棚田未来づくり協議会アドバイザー2017～、かみかつユネスコMAB活用会議・プロジェクトマネージャー2025～、とくしま県民プラザ運営委員会委員長2025～、合意形成プロデューサー育成講座実行委員会・共同代表2024～
○その他	○ファンリテータ:企画・実務、約1000回程度(人材育成・教育活動約300回程度、実践約700回程度) ○執筆等:■学術報告・論文約110件、■2024全国農業新聞コラム連載 地域計画の策定に向けた話し合い(合意形成)の進め方、2024年7月～10月、■文化庁監修「地図中心」特集号:「上勝町の棚田における地域外の活動団体との連携の軌跡」、2024年7月号 ○表彰:「ディスカバー農山漁村の宝第9回優良事賞」かみかつ棚田未来づくり協議会「企画アドバイザー(活動表彰:オンライン&リアル交流を介した集落づくり)、2022年12月総理大臣首相官邸／土木学会グッド・プラクティス賞受賞「学術報告 岡本佳音、木村啓祐、山本晋一、澤田俊明、森本恵美、松浦正浩:建設コンサルタントにおける合意形成技術を活用した働き方改革の取組と効果」(土木学会建設マネジメント委員会、2024年8月5日)／NPO郷の元気:令和6年度過疎地域持続的発展優良事例表彰・過疎地域連盟会長賞、活動表彰・代表理事、2024年09月19日

9

空間デザイン経歴 澤田俊明

■活動理念: ・一度いけば、もう一度行きたくなる空間を創造、・一回参加すれば、もう一度参加したくなる活動を創造 ・空間や活動に魂を入れる

■専門分野: 政策提案、合意形成、景観、地域計画、自然体験活動

■活動1(主として、景観・公園デザイン関連)

→社会活動

- ・徳島県景観アドバイザー、上勝町景観審議会委員、神山町景観審議会委員
- ・兵庫県地域再生アドバイザー

→教育活動

- ・徳島大学講義(景観デザイン、過年度)、徳島文理大学講義(ガーデンデザイン論、2025～)

→デザイン活動

(公園デザイン)

- ・前徳島空港正面玄関デザイン
- ・蔵本公園改修デザイン(国体開催時、現在の正面駐車場改築前の全体リニューアルデザイン)
- ・藍場浜公園改修デザイン
- ・日峯大神子広域公園・展望所及び遊具広場デザイン
- ・旧海部町・那佐運動公園デザイン

(景観デザイン)

- ・新町川護岸・園路デザイン(県庁周辺～国道192号)／昇降路部分:徳島市デザイン最優秀
- ・見能林海岸護岸色彩デザイン、環境アート連携(河崎良好氏)
- ・八重地の棚田デザイン(にほんの里100選、つなぐ棚田遺産)／棚田サミットで紹介

(キャンパスデザイン)

- ・鳴門教育大学キャンパスデザイン(部分)
- ・四国大学キャンパスデザイン(部分)

(アートプロジェクト)

- ・野外アート企画・実施:上勝アートプロジェクト(北川フラム氏と連携)、作家:日比野克彦氏、たほりつこ氏ほか



前徳島空港 正面玄関デザイン



蔵本公園リニューアルデザイン(国体開催時)



八重地の棚田 ほ場デザイン(曲線型ほ場整備)

10